

1. 熊本港利用促進トライアル事業

新

(補正額)1,000千円
(所管課)企業立地推進課

- 物流コスト上昇や脱炭素への対応等の物流面の課題に対し、RORO船が注目されている
- RORO船のトライアル輸送の経費を助成し、同船の定着化と熊本港の利用拡大を図る

現状・課題

- 物流コスト上昇や脱炭素への対応等の物流面の課題に対し、特に半導体関連企業においては、熊本港でのRORO船(※)の利用を検討。

○ RORO船の活用及び定着に向けては、RORO船のスポット利用コストや船数の制限で、企業が望むタイミングでの利用には強いインセンティブが必要。

※ 貨物を積んだトラックやシャーシ(荷台)ごと輸送できる貨物用の船舶

事業概要

○ 事業費:1,000千円

○ 事業内容

熊本港におけるRORO船を利用した輸送に係る船賃等の助成 【1,000千円】

熊本港において、トライアルとしてRORO船を利用した輸送を初めて実施した企業に対し、航路の利用に要した船賃等の一部を助成する。

トライアル後の効果検証として、RORO船と陸送との比較などRORO船のメリットや課題を定量的かつ多角的に整理した上で、荷主企業に示し、RORO船利用の定着を図る。

《積算内訳》

補助上限500千円×2社 (補助対象経費 × 1/2)

イメージ図

